

2021年3月期 第3四半期決算概要

2021年2月2日

千代田化工建設株式会社



1

ハイライト

2

損益計算書

3

バランスシート

4

利益増減分析

5

受注高・受注残高

付表1

完成工事高内訳

付表2

受注高内訳

付表3

受注残高内訳

参考資料

I

成長戦略

II

主要遂行中案件

1.

業績は通期予想に向けて進捗中

完成工事高、純利益は通期予想に対して各々87%、92%

2.

受注

本年度第4四半期に最終投資決定が予定されている海外大型ターゲット案件の受注を目指す

3.

成長戦略

グリーンエネルギー推進、医薬・ライフサイエンス分野拡大、デジタルトランスフォーメーションは着実に進捗

2

損益計算書

(単位:億円)

	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	増減	通期予想	進捗率
完成工事高	2,727	2,430	△297	2,800	87%
完成工事総利益	365	155	△210	260	60%
完成工事総利益率	13.4%	6.4%	△7.0pt	9.3%	—
販売費・一般管理費	△119	△94	25	△150	63%
営業利益	245	61	△185	110	55%
経常利益	209	62	△147	90	69%
純利益*	169	65	△104	70	92%
為替レート(円/米ドル)	110	104		107	

* 親会社株主に帰属する当期純利益

3

バランスシート

(単位: 億円)

	2020年 3月末	2020年 12月末	増減		2020年 3月末	2020年 12月末	増減
流動資産	3,604	3,116	△488	流動負債	3,199	2,511	△688
・現金・預金等	1,244	924	△320	・営業負債*3	2,575	1,891	△684
・営業資産*1	664	738	74	・工事損失引当金	349	367	19
・未収入金	687	695	8	固定負債	402	499	96
・JV持分資産*2	960	694	△266	・長期借入金	357	457	99
固定資産	247	221	△26	純資産	249	327	77
資産	3,851	3,337	△514	負債・純資産	3,851	3,337	△514
				自己資本	244	324	79
				自己資本比率	6.3%	9.7%	3.4pt

*1 営業資産＝受取手形・完成工事未収入金＋未成工事支出金

*2 JV持分資産＝ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金

*3 営業負債＝支払手形・工事未払金＋未成工事受入金

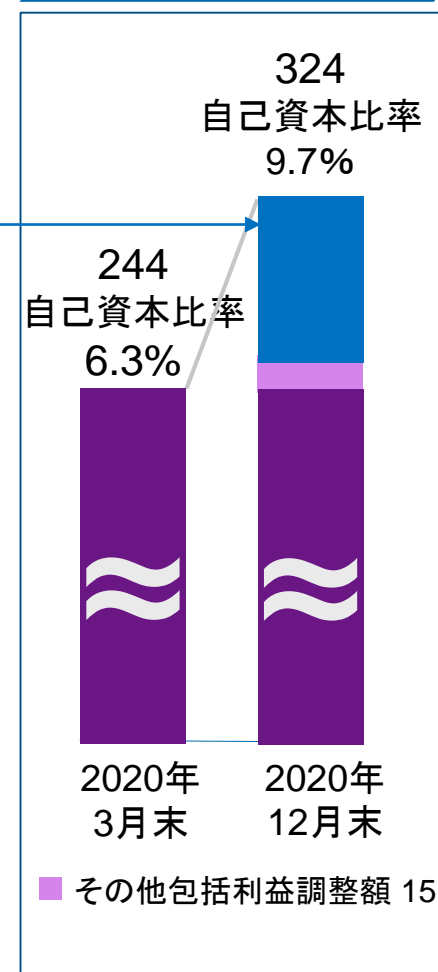
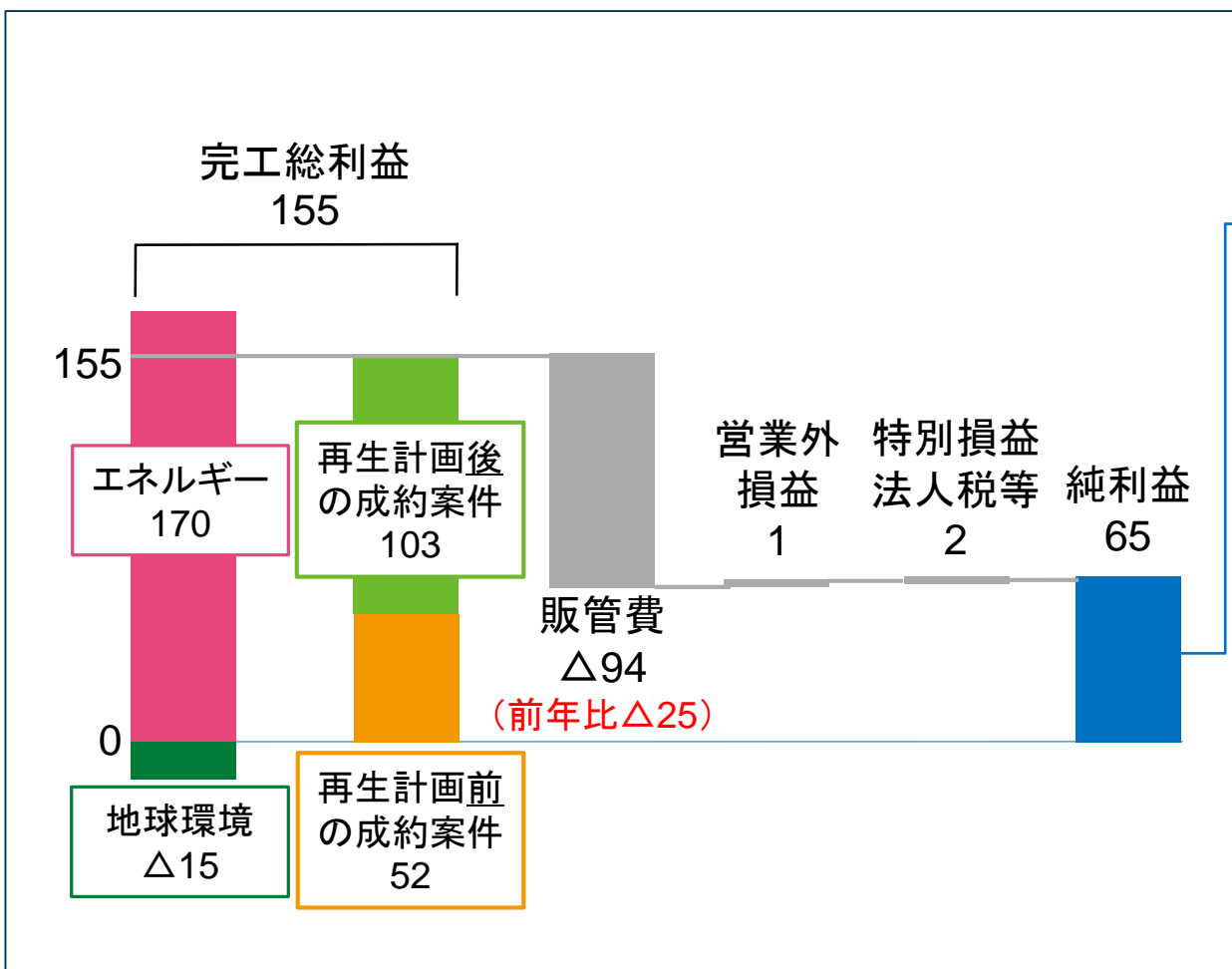
4

利益増減分析

(単位: 億円)

第3四半期利益

自己資本



*「再生計画」公表日: 2019年5月9日

5 受注高・受注残高

(単位: 億円)

	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	増減
受注高	1,400	1,028	△372
エネルギー分野	1,036	550	△486
地球環境分野	364	478	114

通期予想	達成率
6,500	16%

	2020年3月末	2020年12月末	増減
受注残高	8,118	6,268	△1,850
エネルギー分野	6,931	5,096	△1,835
地球環境分野	1,188	1,172	16

受注残高主要案件

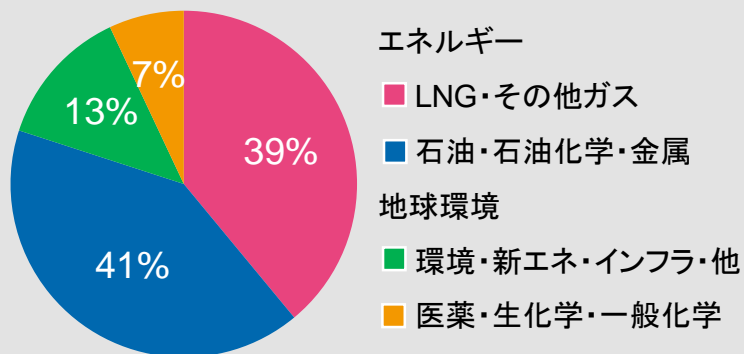
	1,000億円以上	500億円以上	100億円以上
エネルギー分野	ゴールドデンパスLNG		テキサスエチレン、タンガーLNG
地球環境分野			バイオマス発電、蓄電池システム

完成工事高内訳

(単位:億円)

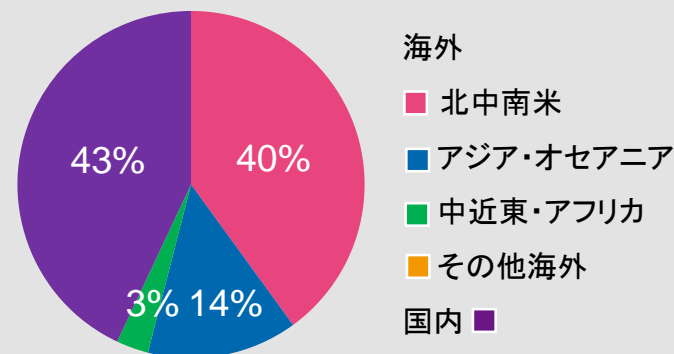
分野別

2021年3月期第3四半期



地域別

2021年3月期第3四半期



	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期
エネルギー	2,190	1,940
・LNG・その他ガス	1,323	948
・石油・石油化学・金属	867	992
地球環境	536	490
・環境・新エネ・インフラ・他	361	323
・医薬・生化学・一般化学	176	167
合計	2,727	2,430

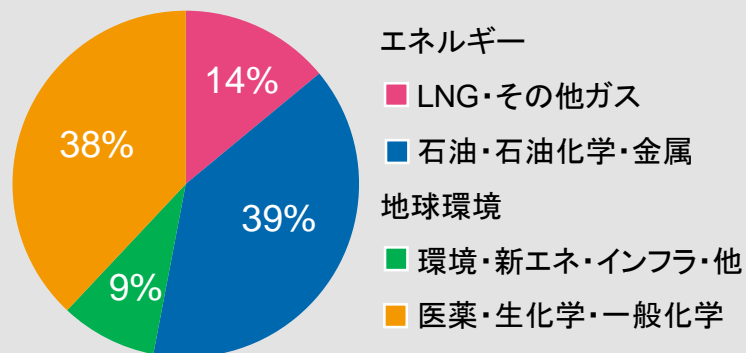
	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期
海外	1,775	1,376
・北中南米	1,371	973
・アジア・オセアニア	324	335
・中近東・アフリカ	79	68
・その他海外	1	0
国内	952	1,054
合計	2,727	2,430

受注高内訳

(単位:億円)

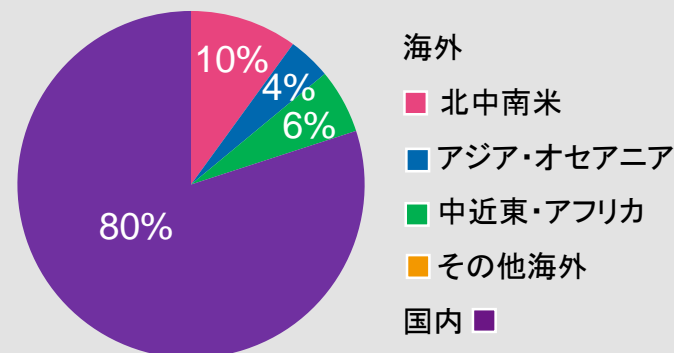
分野別

2021年3月期第3四半期



地域別

2021年3月期第3四半期



	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期
エネルギー	1,036	550
・LNG・その他ガス	616	148
・石油・石油化学・金属	420	402
地球環境	364	478
・環境・新エネ・インフラ・他	123	91
・医薬・生化学・一般化学	241	387
合計	1,400	1,028

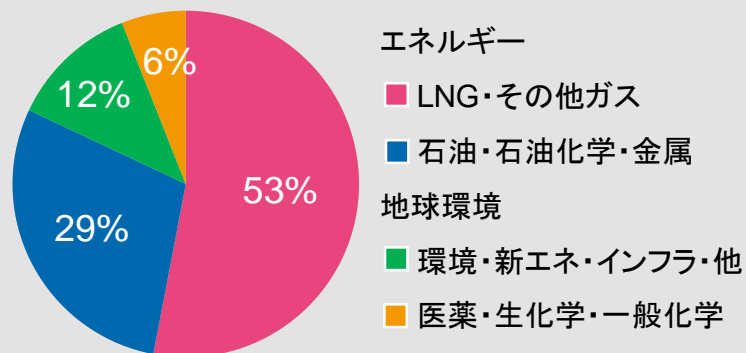
	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期
海外	694	211
・北中南米	197	104
・アジア・オセアニア	451	42
・中近東・アフリカ	46	65
・その他海外	0	0
国内	706	817
合計	1,400	1,028

受注残高内訳

(単位:億円)

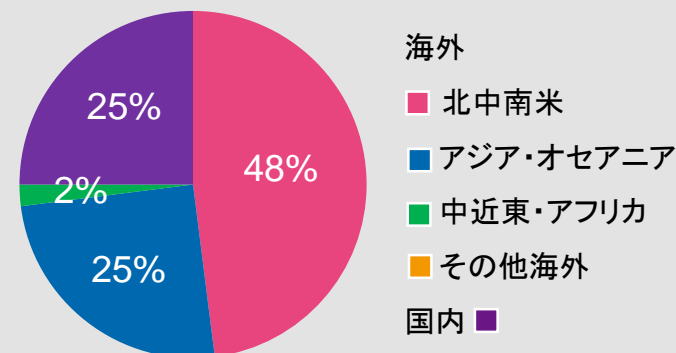
分野別

2020年12月末



地域別

2020年12月末



	2020年 3月末	2020年 12月末
エネルギー	6,931	5,096
・LNG・その他ガス	4,501	3,300
・石油・石油化学・金属	2,429	1,796
地球環境	1,188	1,172
・環境・新エネ・インフラ・他	201	752
・医薬・生化学・一般化学	987	420
合計	8,118	6,268

	2020年 3月末	2020年 12月末
海外	6,323	4,727
・北中南米	4,297	3,048
・アジア・オセアニア	1,883	1,547
・中近東・アフリカ	143	132
・その他海外	0	0
国内	1,796	1,540
合計	8,118	6,268

参考資料



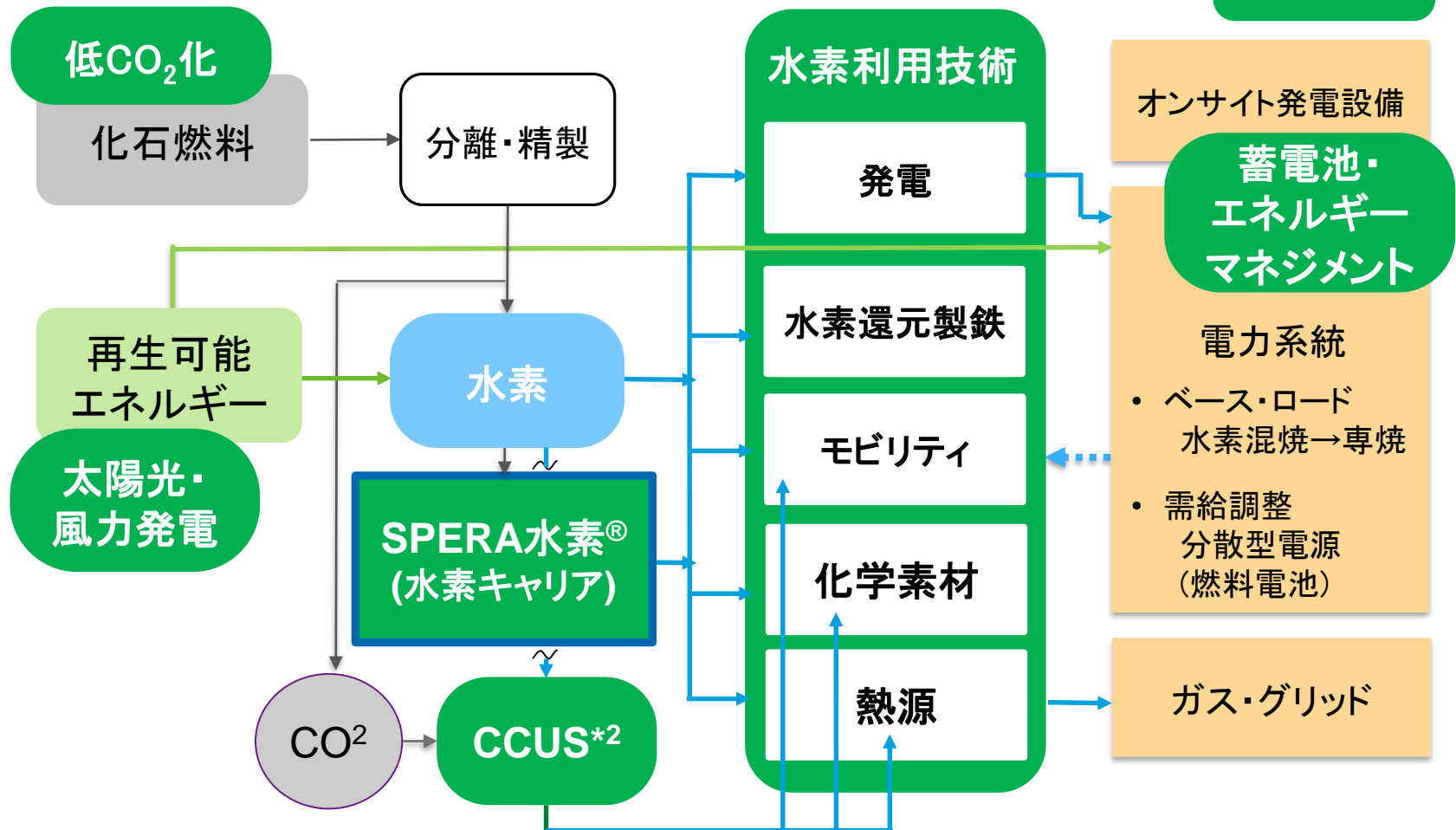
I
成長戦略

II
主要遂行中案件

成長戦略 当社が描くグリーンエネルギー

グリーンエネルギー・バリューチェーンを社会実装化する技術ソリューションにより、CO2排出ネット・ゼロ社会の実現に貢献

当社の重点取り組み分野



* CCUS=二酸化炭素回収・有効利用・貯留 (Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage)

世界初の国際間水素サプライチェーン実証*1は2020年12月に運転完了

→安定して安全な水素供給を可能にする技術が確立、社会実装に向けてさらに前進

- 国際間水素大量輸送、貯蔵(実績:10か月間で100トン超)
- 広く普及する安全基準に基づく既存の設備や輸送手段を活用した実証に成功
- 日本初、ガスタービン発電設備への海外輸入水素の安定供給を実施

SPERA水素®の強み

- 既に技術的には商業スケールに対応可能
- 最も安全な水素キャリア
- 既存の工業規格・安全基準・石油化学インフラをそのまま活用できる

水素社会加速に向けた最もハードルの低い現実的なソリューション

国際間水素サプライチェーン実証

水素化

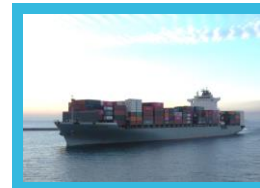
輸送



水素化プラント@ブルネイ



MCH *2出荷



定期コンテナ船

貯蔵

脱水素

発電



MCH *2受払



脱水素プラント@川崎臨海部



写真提供:東亜石油(株)

*1 当社が組合員企業として参加するAHEAD(次世代水素エネルギーチェーン技術研究組合)が遂行中のNEDO 助成事業:水素社会構築技術開発事業/大規模水素エネルギー利用技術開発

*2 MCH(メチルシクロヘキサン):トルエンと水素の結合により生成された常温・常圧で取り扱うことのできる液体

CO₂分離・回収

環境配慮型CCS実証設備【完工】

- 東芝エネルギーシステムズ(株)殿向けCO₂分離回収実証設備
- 2020年10月に完工、顧客に引き渡し済み、実証運転中
- 当社の排煙脱硫技術(CT-121)をCO₂分離回収の前処理設備に採用
- 火力発電所から出力されるCO₂の50%以上を回収出来る設備は日本初



写真提供:東芝エネルギーシステムズ(株)

世界最大規模の 蓄電池システムを建設【遂行中】

- 風力発電国内最大手の(株)ユーラスエナジーホールディングス殿が出資して設立した特別目的会社である北海道北部風力送電(株)殿向け
- 北海道北部地域で実施する「風力発電のための送電網整備の実証事業」のうち、北豊富変電所に併設される蓄電池システム(出力規模240MW)
- 自然環境の影響を受けやすい再生可能エネルギーの安定供給を実現



北海道北部風力送電(株)殿向け蓄電池システム建設現場(2020年10月撮影)

遺伝子組換えタンパク質 ワクチン工場の建設 【遂行中】

- 塩野義製薬(株)殿向け遺伝子組み換えタンパク質による新型コロナウイルス向けワクチン原薬製造プラント
- 設計・調達・建設業務を遂行中



写真提供: (株)UNIGEN

医薬品原薬・中間体の 連続生産技術の開発協業 【遂行中】

- シオノギファーマ(株)殿と協力して開発
- 当社が石油精製プロセスで培った水素化反応プロセスの知見を、医薬品の連続生産技術の実用化に活用
- 連続生産プロセスの構築に不可欠なAIを含む全体制御・最適化の手法も検討



EFEXIS®

国内外のプラントで導入が進行中

プラントエンジニアリングで培った知見と最先端の Digital / AI技術を融合した革新的なプロダクト

- 大きな設備改造なしに、プラントの運転・保全の可視化から自律化までを実現
- 運転の最適化、アベイラビリティ向上、保全の効率化により、アセットの価値向上に貢献



- LNG Plant AI Optimizer®
- 油種切替 AIシステム

- フォーミング予測AIシステム

- 加熱炉Webサービス

- プラントの運転最適化
- 収益性向上に貢献

- 運転停止・故障を予知
- プラントの安定操業に貢献

- プラントの遠隔監視
- 保全の安全向上に貢献

PlantStream™

プラント・エンジニアリング業界で注目

プラントエンジニアリングで培った知見と自律的CADを融合した革新的なプラント空間設計システム

- プラントの基本設計業務のうち空間設計にかかる工数の約80%を削減
- 従来の約5倍の速度で三次元モデルを作成

YouTube をご利用した動画再生ができるQR コード

EFEXIS®
LNG Plant AI Optimizer®



PlantStream™



主要遂行中案件

案件	インドネシア・タングー LNG	米国・テキサスエチレン	米国・ゴールデンパス LNG
顧客	BP Berau Ltd.	Gulf Coast Growth Ventures (ExxonMobilとSABICのJV)	Golden Pass Products (ExxonMobilとQatar PetroleumのJV)
パートナー	Saipem, Tripatra	Kiewit Energy Group Inc.	Zachry, McDermott
契約時納期	Under Review due to Pandemic	2021年	2025年
進捗率	約89%	約86%	約22%
遂行状況	建設工事を遂行中	中国でモジュールを製作中 米国向け曳航も順次進捗 現場工事進捗中	設計・調達業務並びに 現場工事を遂行中

インドネシア・タングーLNG



Courtesy of BP Berau Ltd.

米国・テキサスエチレン



Courtesy of Gulf Coast Growth Ventures LLC

永続的な発展と社会から
一層信頼される企業を目指して



Energy and Environment in Harmony

千代田化工建設株式会社 IR・広報・CSR 部 <https://www.chiyodacorp.com/jp/>

この資料には、事業戦略・本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。